

リョーシンSDGs宣言

両備信用組合は、協同組織金融機関としての特質を生かし、地域に信頼・必要とされる金融機関「お客様支援機関」として地域社会への貢献に取り組んでいます。

今般、国連が提唱する「持続可能な開発目標 SDGs」の趣旨に賛同し、「リョーシン SDGs 宣言」を新たに策定するとともに地域社会の繁栄に貢献することで、今後とも持続可能な社会の実現に取り組んでまいります。

※SDGs（エス・ディー・ジーズ：Sustainable Development Goals）とは、2015年9月の国連サミットで採択された国際社会共通の持続可能な開発目標であり、「世界中のすべての人々が幸せに暮らすことが出来る社会をつくる」ために、2030年を目標達成のゴールとして、貧困の根絶や格差是正、働きがい、環境保護など幅広い課題の解決を目指し、「17の目標」と「169のターゲット（具体目標）」が設定されています。この目標達成に向けて、国や企業だけでなく、個人一人ひとりにも役割があり、すべての人々が協力・連携することが求められています。

令和3年2月1日
両備信用組合
理事長 渡邊 陽浩

《 両備信用組合が主に取り組む7つのテーマ 》

1、質の高い教育をみんなに

- お客さま向け各種セミナー等の開催
- 職員の「資格取得奨励制度」
- 子育て支援「教育ローン」の取扱い
- 寄付型自動販売機設置利用による子供未来応援基金への支援
- 地域の学生等に対する支援・教育
(キャリアスタートウイーク・インターンシップ受入れ)
- 信組協会から施設への寄付



5、人や国の不平等をなくそう

- 全店に「筆談ボード」「つえ掛」を設置
- コミュニケーションボードの備え置き
- ATM入口へのスロープ・手すり設置
- 拡聴器の備え置き



2、エネルギーをみんなにそしてクリーンに

- 本支店のLED照明の導入による省電力・省エネの推進（8拠点）
- 支店の屋上にソーラーパネルを設置（1拠点）
- 太陽光発電事業ローン



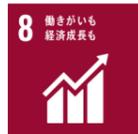
6、住み続けられるまちづくりを

- 子育て支援積金の取扱い
- 住環境、生活環境改善に繋がる金融支援
- 地域見守り活動（地方公共団体等と地域見守りに関する協定締結 3拠点）
- 特殊詐欺の撲滅に向けた取組みの強化
- 地域行事への積極的な参加
- 後見制度支援預金の取扱い
- 社会福祉協議会へ使用済み切手の寄贈
- ボランティア活動（地域清掃）



3、働きがいも経済成長も

- 「リョーシン経営塾」を開催し、お客さまとのコミュニティーを重視した経営の実施
- 中小企業の健全な育成発展に繋がる金融支援
- 「しんくみビジネス・マッチング」の開催へ協賛
- 「年金・労務なんでも相談会」の開催



4、産業と技術革新の基盤をつくろう

- 創業支援融資の取扱い
- 「リョーシン アグリローン」の取扱いにより第一次産業支援



7、気候変動に具体的な対策を

- クールビズ、ウォームビズの実施

